

学校経営方針

平成24年(2012年)4月2日
横須賀市立明浜小学校
校長 小田部 忠仁

(基本姿勢)

平成24年度の学校経営方針を次のように考え、全教職員が、その職責の重さを認識し、自分の特性や個性を発揮する中で、本校の教育活動を推進していくことに期待したい。

基本的には、平成23年度までの明浜小学校の教育活動を継承しつつ、課題を明確にし、そのための手だてを考え、さらに充実させていきたいと考える。

また、学習指導要領の趣旨を理解し、教育基本法並びに学校教育法、関係施行規則などの「法律」を遵守し、日々の教育活動に取り組まなければならないと考える。

さらに、学校へ寄せられる要求・要望は多岐にわたってきている。中には理不尽なものもあることは否定できない。しかし、その要求や要望に耳を傾けることをしないで、本校の教育活動を推進することは困難である。よって学校、保護者、地域との連携を深めながら、児童だけでなく、保護者や地域にも開かれた学校であることが重要であると考えます。

1. 経営の理念

小学校教育は、「生きる力」を育む基礎づくりであり、知(知育)・徳(徳育)・体(体育)・関(関係力)の調和のとれた教育活動を推進しながら、豊かな情操と心身ともにたくましい児童の育成をめざすことである。(人格形成)

2. 基本方針

- ① 公務員の原則に従い、日本国憲法並びに教育基本法・教育関係法規に則り、県・市の重点施策を尊重し、本校児童の実態や地域の実情をふまえて学校運営に当たる。
- ② 学習指導要領の趣旨を生かし、本校の特色・創意工夫を生かした教育課程を編成し、基礎・基本的な知識・技能の定着、思考力・判断力・表現力の育成、学習意欲の向上、学習習慣の確立を目指し、わかる授業、学ぶ喜びのある授業の創造に努める。
- ③ 一人一人の人格を尊重し、深い児童理解に立って個性を生かし伸ばす教育を推進する。
- ④ 確かな学力を身につけさせるために、興味・関心や意欲を高めるとともに、少人数や習熟に応じた指導などを工夫することにより、きめ細かな学習指導を計画的に推進する。
- ⑤ 道徳教育の充実、体験的活動・問題解決活動を重視した教育を推進し、感性豊かで心身ともにたくましく生きる児童を育成する。
- ⑥ 安心・安全な学校生活の確保や、不登校・いじめ等の児童指導上の課題に対応するために、家庭や地域及び関係諸機関との連携を密に取りながら積極的な児童指導を充実する。
- ⑦ 教科教育、健康に関する指導(保健・安全・食育)の充実を図り、健やかで丈夫な児童を育てる。